

第61回 関東甲信越静学校保健大会 参加報告

妙高市立新井小学校 宮田 映子
 上越市立大潟町小学校 米山 優子
 上越市立上杉小学校 横田美佐江

- 1 期 日 平成22年8月19日 (木)
- 2 会 場 茨城県水戸市 茨城県立県民文化センター
- 3 内 容



- (1) 特別講演 演題 「不可解な対人関係の対処法」
 講師 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 宗像 恒次 氏

- ・ 不可解な人は、自分に成長の課題をくれる。
- ・ 対人関係において、相手を変えようとする関係が悪くなる。相手を変えようとするからストレスが生まれる。
- ・ 人間には変わらない次のような気質がある。

人格気質として ⇒ 循環気質 (モチタイタイプ)	: 他者報酬依存
粘着気質 (セワヤキタイプ)	: 守護報酬依存
自閉気質 (マイペースタイプ)	: 自己報酬依存
ストレス気質として ⇒ 不安気質 (ピリピリタイプ)	: 損害回避
執着気質 (キッチリタイプ)	: 報酬不全
新奇気質 (イキナリタイプ)	: 新奇性追求

- ・ 同気質同士は、相手を尊重しあえば親密感が増す。異気質同士は、補完しあえば信頼感が高まる。
- ・ また、人間は、愛着獲得行動を繰り返すことで「情緒的結びつき」を強め、守ってもらえる「信頼感」を獲得し、ストレス対処能力を高めることができる。揺るぎない愛着形成が出来ていないと、いくら年齢を重ねても人に愛されようとして病氣行動や逸脱行動をとり、人間関係をうまく結ぶことができない。
- ・ 対人関係においては、相手も自分も変えなくていい。気質を知り、それを生かす対応をしていこう。

(2) 班別研究協議

班	課 題
1	[学校経営と学校保健] 教育目標具現化を目指す学校保健
2	[健康教育] 生きる力をはぐくむための健康教育
3	[性教育・エイズ教育及び薬物乱用防止教育] 適切な行動選択の力を育てる性教育・エイズ教育及び薬物乱用防止教育
4	[学校歯科保健] 生活習慣病の予防等を目指した歯・口の健康づくり
5	[学校環境と安全教育] 快適な学校環境づくりと実践力を高めるための安全教育



《班別研究協議の感想》

1班 〔学校経営と学校保健〕

- ① 山梨県甲府市立山城小学校
 - ・ 大規模校における組織的な学校保健活動について、保健室を中心に、組織を生かし、関係職員とのきめ細やかなかわり方をしている。
- ② 千葉県市川市立須和田の丘支援学校
 - ・ 校内組織の「健やかな体／ヘルシースクール」部会を中心に、健康教育を繰り広げていることや、学校保健委員会の活動を軸に家庭や地域と連携を図る工夫がされている。

須和田の丘支援学校の先生方が実際の指導で使用した教材です。
定期健康診断時に視覚的な教材を使用して、将来的にスムーズに医療機関へ受診できるように工夫されている。



- 協議会に参加して、自校の健康課題を解決するためにどのような活動が必要なのかをしっかりと把握し、組織的に進めていくことが大切であると感じました。

(米山)

2班 〔健康教育〕

- ① 茨城県笠間市立東中学校
H18~20 茨城県教育委員会学校保健・学校安全研究指定校
研究主題：生命の尊さを見つめ、自他の生命を守る生徒の育成
 - ・ 生命には心があり、その生命を自己管理意識を形成し実践力を育てるために、いろいろな機関や学習資料、人的・物的資料を活用して健康教育を推進している。
 - ・ 生徒の「気づき」から枝葉のように活動を広げ、「つながり」をキーワードに健康教育を推進している。
- ② 埼玉県春日部市立立野小学校
 - ・ 市教委の研究委託を受け学習指導法の研究を行っていたが、朝食と学習の関係に気づき、学校教育目標を「食」から見直し、「心と体を育てる食育」として取り組んだ。
 - ・ 「連携」をキーワードに児童だけでなく、保護者・地域と一緒に食育を展開していた。



- 健康教育を推進していくには、私たち養護教諭の「気づき・見取る目」と「コーディネート力・企画力」が求められ、「いろいろなつながり・連携」をうまく機能させることが必要であることを改めて感じました。

(宮田・横田)

- ※ 梅づくしのお弁当に暑さも忘れませんでした。
- ※ 来年度は、神奈川県で開催されます。

